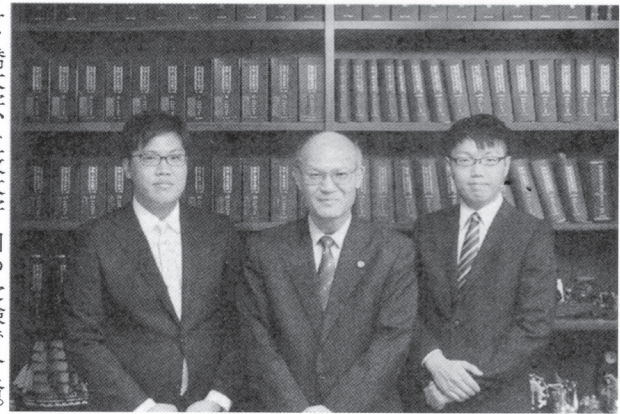


# 新聞記事より

## 息子が司法、弁理士試験に合格 羽鳥国際特許の羽鳥所長



左から二男慎也氏、羽鳥所長、長男正靖氏

羽鳥国際特許商標事務所（前橋市北代田町645-5、☎027-231-6288）の羽鳥亘所長の2人の子息がそれぞれ今年度の司法試験、弁理士試験に合格した。全国的にみてもまれなケースで、同事務所では、「特許・商標などの知的財産権の保護について、業務・法務の両面から業務を行う基盤が整った」としている。

司法試験に合格した長男の正靖氏は28歳、一ツ橋大学、立教大学法科大学院を経て、今年度合格率23・1%の難関を突破した。今後、司法研修生として実務経験を積み、弁理士となる。正靖氏は、「群馬を中心に活動し、特許・知財を得意分野とした弁護士を目指したい」と抱負を語った。

また、弁理士試験に合格した二男の慎也氏は、今年成蹊大学工学部大学院を卒業した25歳。今年度の合格率6・6%、合格者平均年齢39歳という中、初回受験で合格。その後、都内の弁理士事務所でも実務経験を積み、也氏は、「現代社会で知財は、国内だけではなく、国内だけでは済まない問題。海外を視野に県内企業の海外進出、成長のお手伝いをしたい」と話した。

羽鳥所長は、「知的財産権は今後ますます必要性や重要性が高まる。信頼される事務所を目指し、また県内企業にとっても、5年後、10年後の群馬を背負っていただける基盤として話している。」